



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和5年10月29日(日)  
秋の合同剪定会に参加しました 編

今年の能代バイパス黒松友の会\*の秋の剪定会は、初日が日曜日、二日目が月曜日とこれまでにない日程となりました。この週末は県立大学秋田キャンパスの大学祭「松風祭」。研究所の先生や学生さんの応援が得られなかったため、能代河川国道事務所の長崎さんに上半分をお願いし、ネットワークの松を剪定しました。

一般に大学祭は学生達のお祭りで、教員が参加する余地は極めて少ないのですが、松風祭は開校以来、教員参加を求められていて、木高研は毎年、木材にこだわった企画展示を行っています。

修士課程2年の倉嶋さんによる春の剪定が上手だったようで、手際の良い長崎さんが「あんまり切るところがないですね～」と早々に作業を終えられました。何度参加しても要領を得ず、迷いながら挟みを入れている下半分はなかなか捗りません。「葉を摘み取った箇所は永遠に芽が出ません」という剪定会資料の一文が何度も頭をよぎります。それでもお昼前には、「これでいいことにしよう！」と諦め作業を終えました。

剪定前に気づいたのは、葉がライムグリーンに変色していること。周囲の松を見渡しても、そんな色になっているのはネットワークの松のみです。日焼けか猛暑で弱ったか、はたまたマツクイムシ被害で枯死に向かっているのか。強剪定されても元気だったのに\*\*、作業が終わっても心配はつきません。役員、指導員の方々にのちほど見ていただき、必要な対策を行っていただくことになりました。

文： 渡辺 千明

\*能代バイパス黒松友の会紹介 URL:

[https://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/douro/noshirokokudou\\_douro/vsp/kuromatu/main.html](https://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/douro/noshirokokudou_douro/vsp/kuromatu/main.html)

\*\*令和4年10月1日の活動レポート参照



お天気なのか、曜日なのか。春の初日より参加者は若干少なく感じました。



高いところも慣れた様子で手際よく剪定作業が進みます(上)。春に比べると徒長枝は長くありません。成長を想像しながら混み合っている枝を剪定します(下)。



まだ黄色にはなっていませんが、きれいなライムグリーンになってしまっています。この先がとても心配です。



ネットワークの松の剪定枝葉は1袋にもなりません。剪定会後、20袋を木高研に運んでいただきました。後日、市民向け講座で炭焼きを行い、希望者に配布する予定です。